

資料2-2

地球温暖化防止実行計画(区域施策編)
策定について

町民・事業者アンケート 実施結果について

令和6年1月16日
総務経済常任委員会

町民アンケート調査結果：①回答者について(年代)

アンケート調査の概要

【実施期間】 令和5年9月19日から10月6日

【アンケート調査配布数】 1,000通

【配布方法】 郵送 + LINE/HP経由

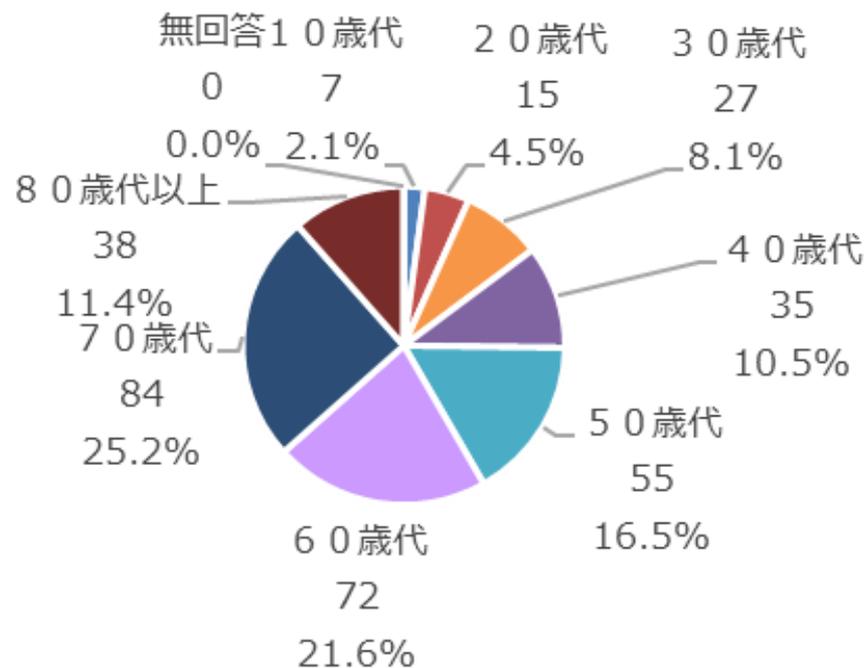
【回収数】 284通 (内WEB回答34)

【回収率】 28.4% + 49通 (LINE/HP経由)

問1-年代

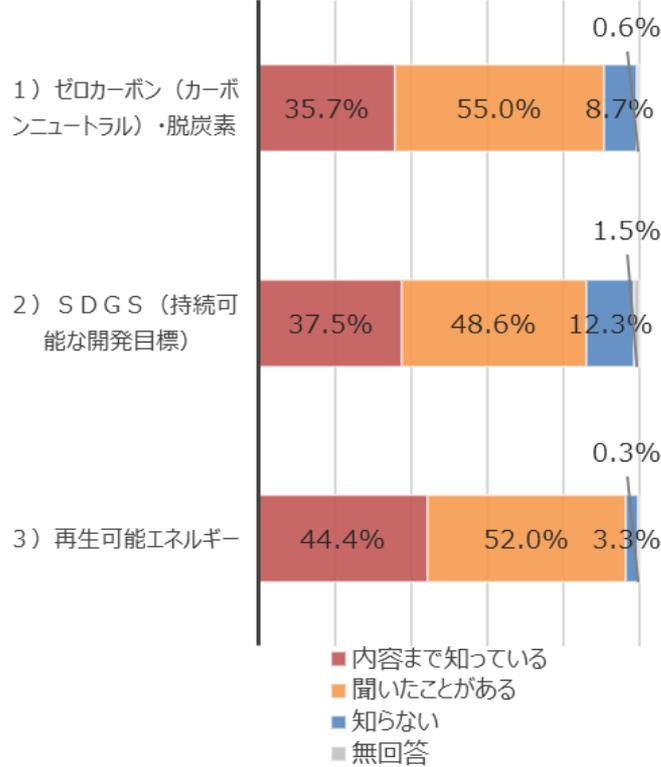
10～30代	14.7%
40～50代	27.0%
60～80代以上	58.3%

半数以上が60代以上



町民アンケート調査結果：②脱炭素（脱炭素に関する言葉の理解度）

問3-脱炭素に関する言葉の理解度



【全体】

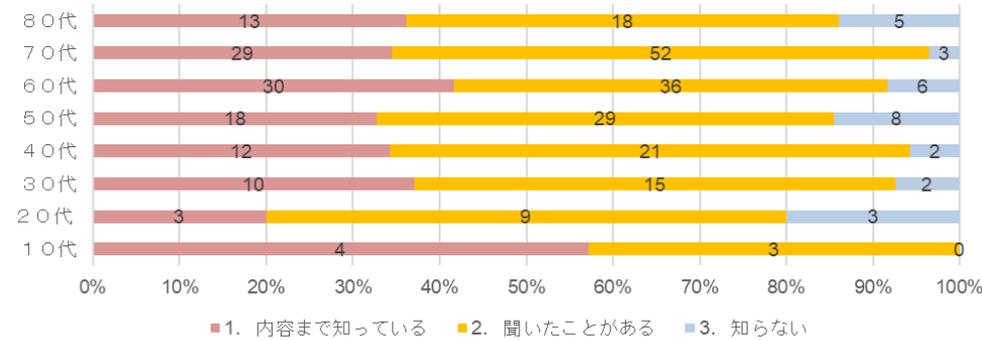
「内容まで知っている」3-4割

「聞いたことがある」5割程度

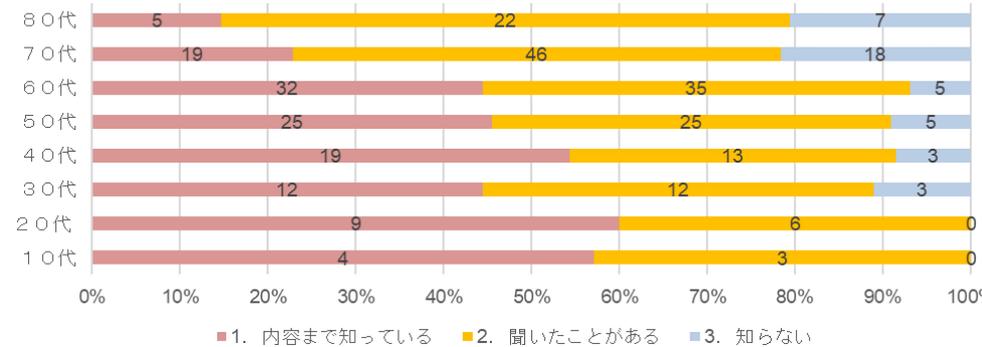
【年代別】

ゼロカーボンは年代による差が無い
SDGs・再生可能エネルギーは若い世代の方が理解度は高い

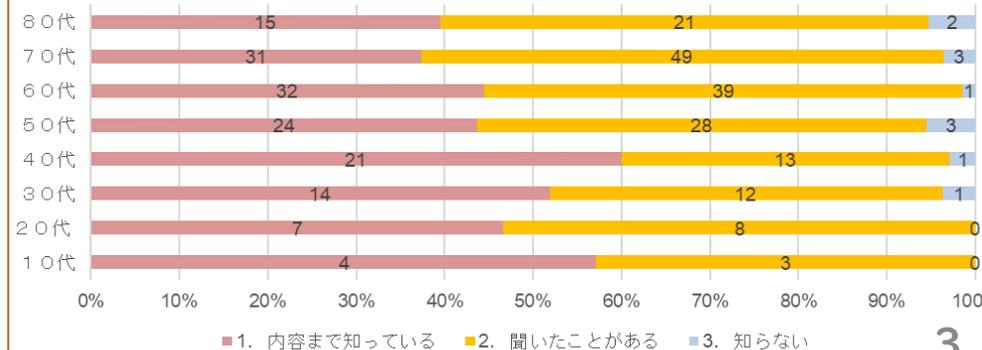
ゼロカーボン・脱炭素カーボンニュートラルについて（年代別）



SDGsについて（年代別）

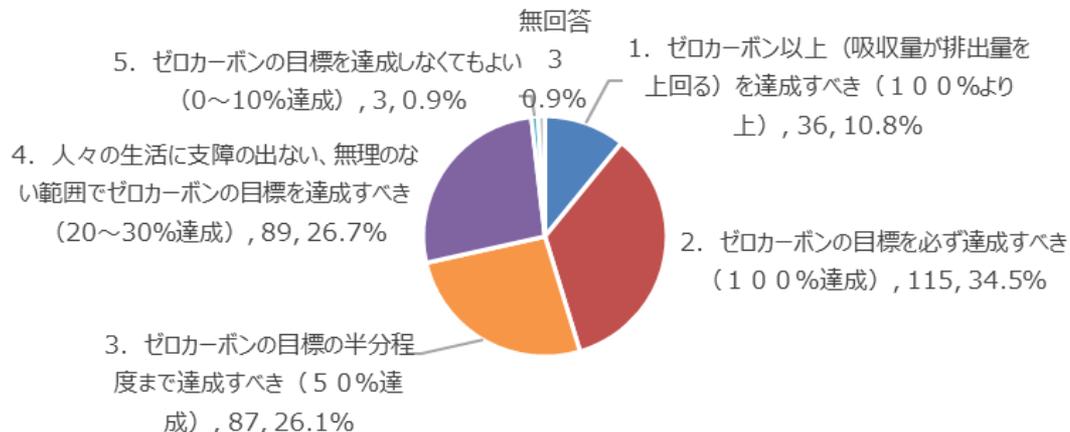


再生可能エネルギーについて（年代別）



町民アンケート調査結果：②脱炭素（温室効果ガスの達成度）

問4-温室効果ガスの達成度



【全体】

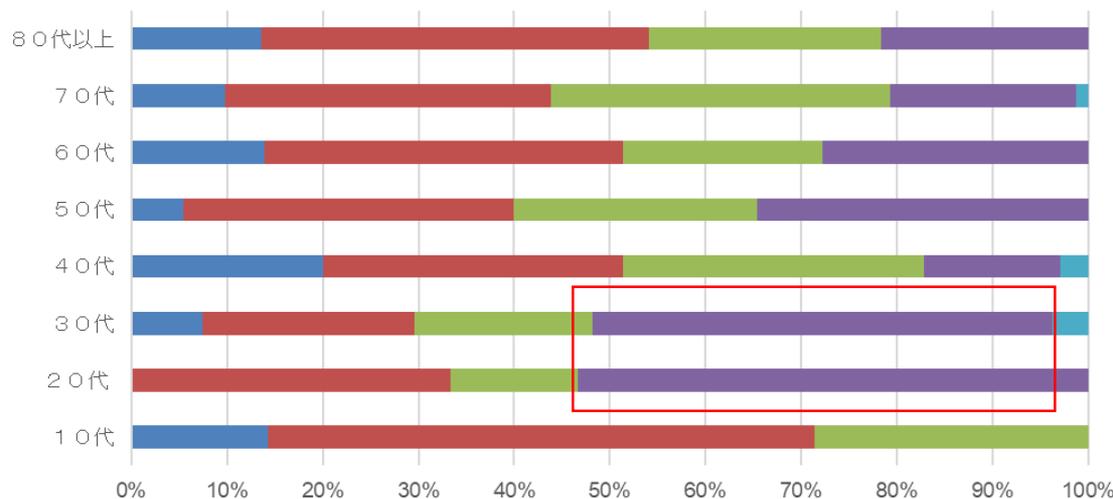
目標達成+目標以上：
45%、
20~30%達成：26%、
50%達成：26%

【年代別】

20~30代は20~30%達成が多い

→若年層は無理のない範囲で考えている

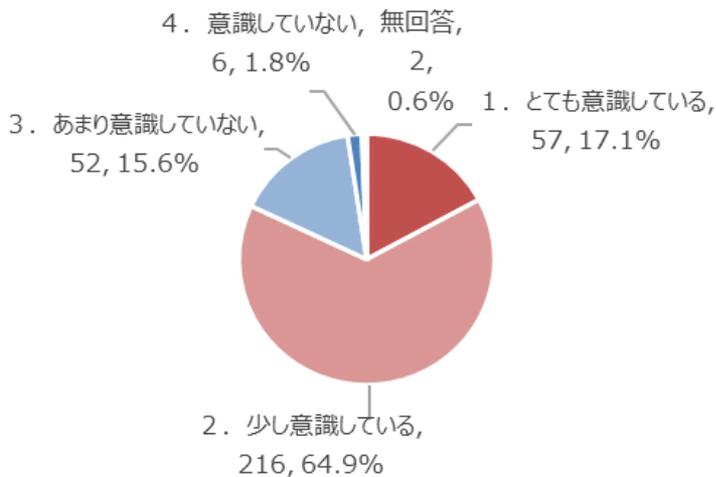
温室効果ガスを何パーセント程度削減すべきか（年代別）



- ゼロカーボン以上（吸収量が排出量を上回る）を達成すべき（100%より上）
- ゼロカーボンの目標を必ず達成すべき（100%達成）
- ゼロカーボンの目標の半分程度まで達成すべき（50%達成）
- 人々の生活に支障の出ない、無理のない範囲でゼロカーボンの目標を達成すべき（20~30%達成）
- ゼロカーボンの目標を達成しなくてもよい（0~10%達成）

町民アンケート調査結果：②脱炭素（環境への行動）

問5-地球温暖化やエネルギーに配慮した行動

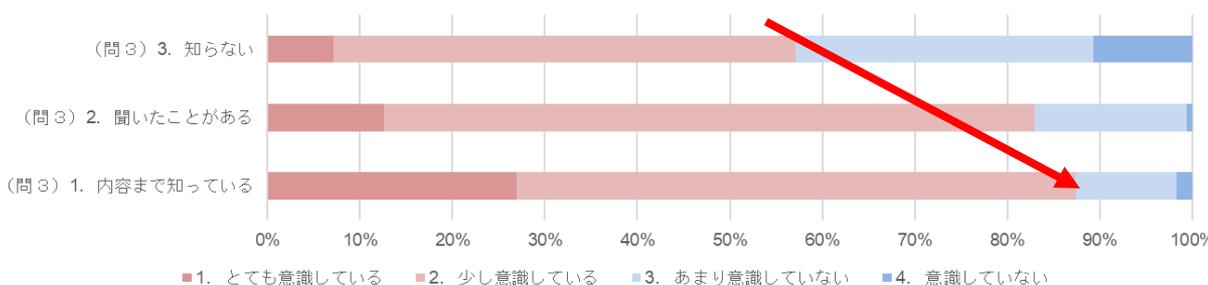


【全体】意識している・少し意識している：8割以上

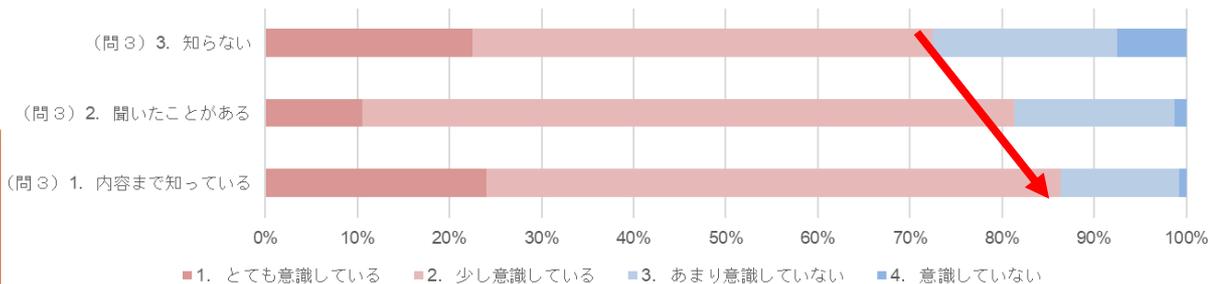
【言葉の理解度（問3）】内容を知っている・聞いたことがある→環境に配慮した行動を実施している。

→理解度を深めることが環境への行動につながる

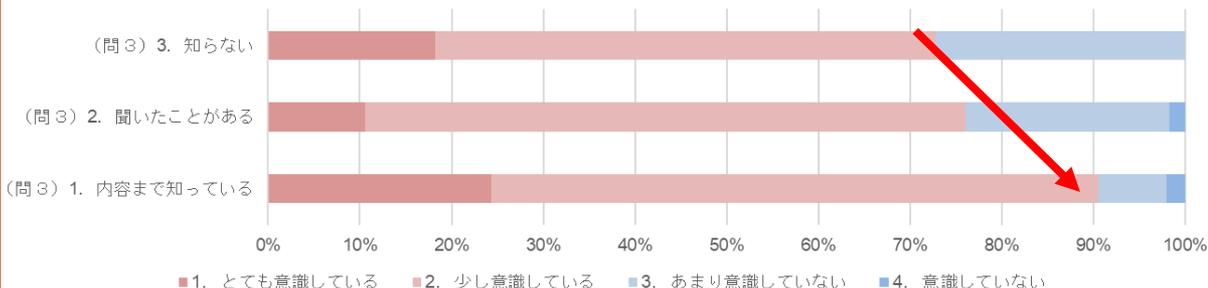
問5（環境に配慮した行動） v s 問3-1（ゼロカーボン・脱炭素の言葉の理解度）



問5（環境に配慮した行動） v s 問3-2（SDGs）

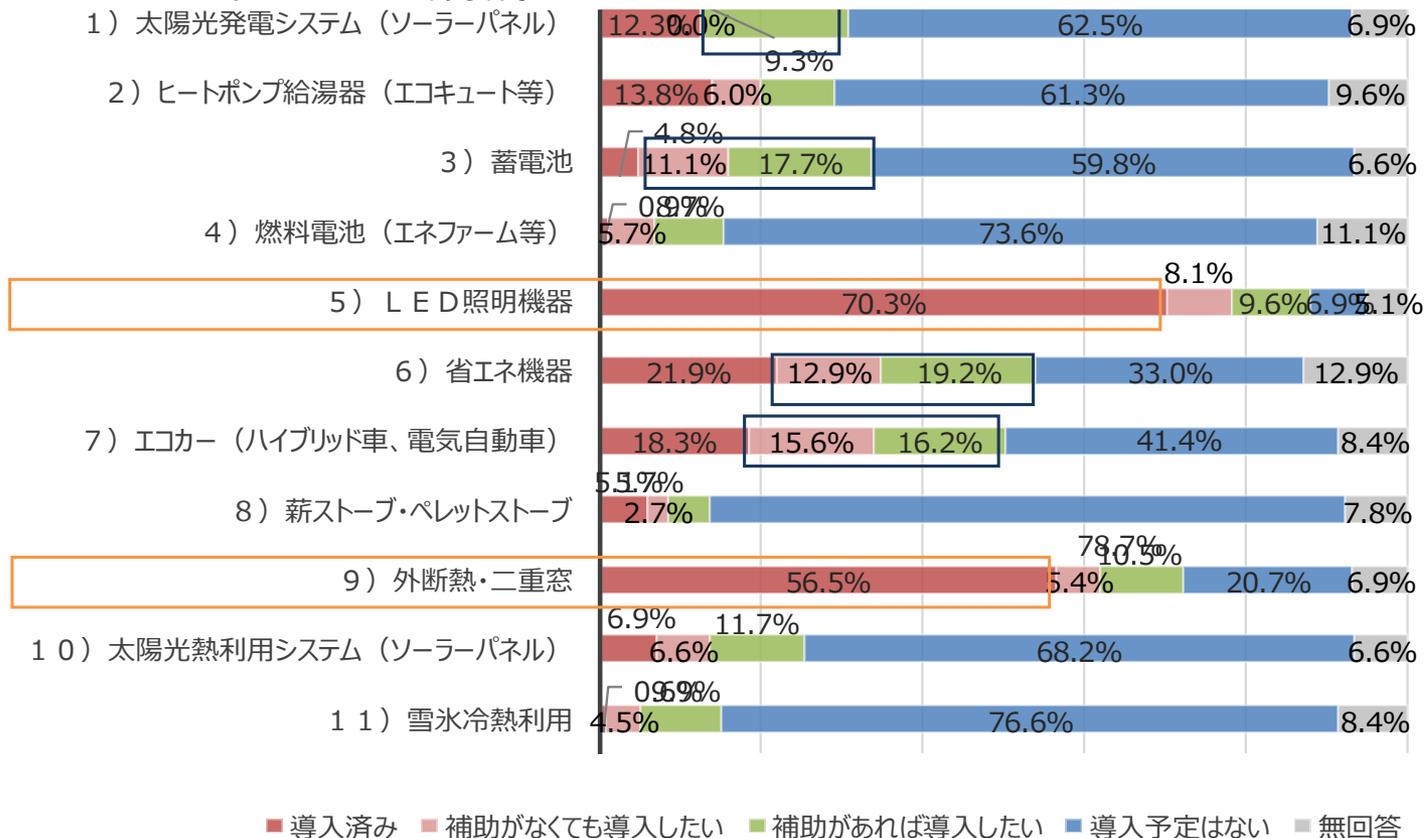


問5（環境に配慮した行動） v s 問3-3（再生可能エネルギー）



町民アンケート調査結果：③環境配慮への取り組み（エネルギー設備）

問20-導入しているエネルギー設備



導入が進んでいる：「LED」「外断熱・二重窓」

今後導入したい：「蓄電池」「省エネ機器」「エコカー」「太陽光発電」

うち「エコカー」「蓄電池」「省エネ機器」

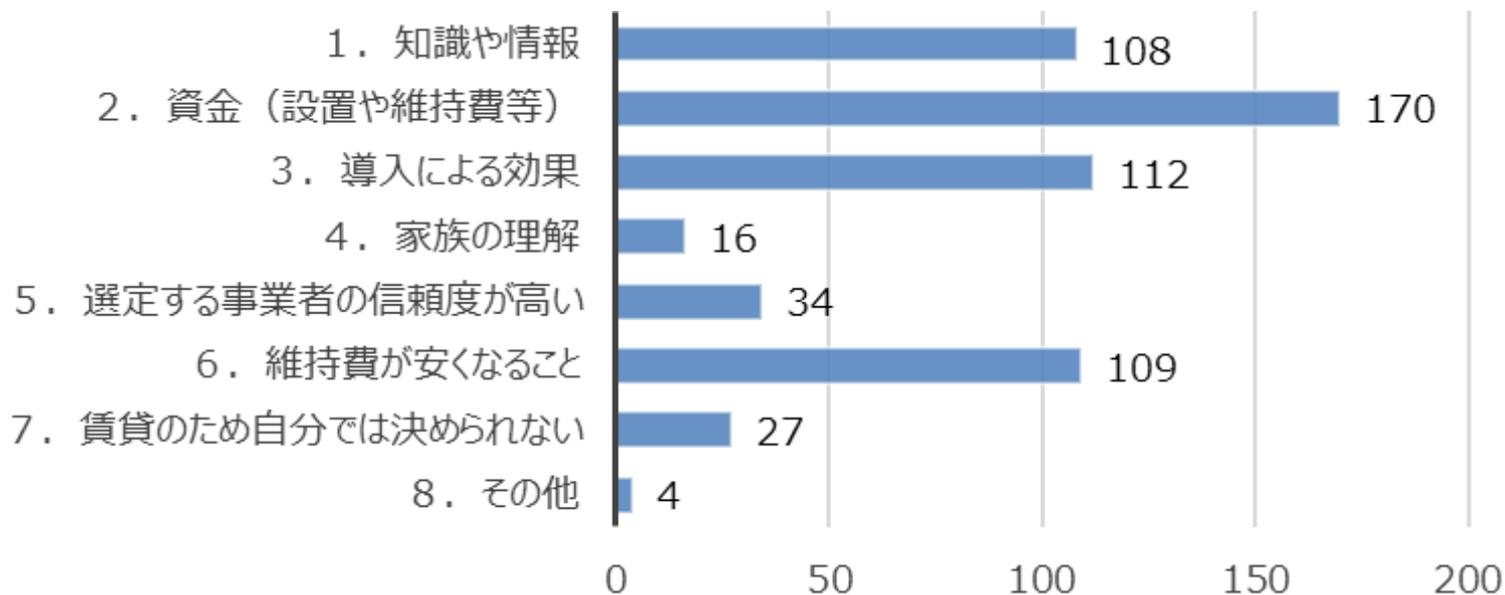
→ “補助がなくても導入したい”が1割程度

「太陽光発電」 → “補助がなくても導入したい”は0

費用が高いものほど補助が必要

町民アンケート調査結果：③環境配慮への取り組み（エネルギー設備）

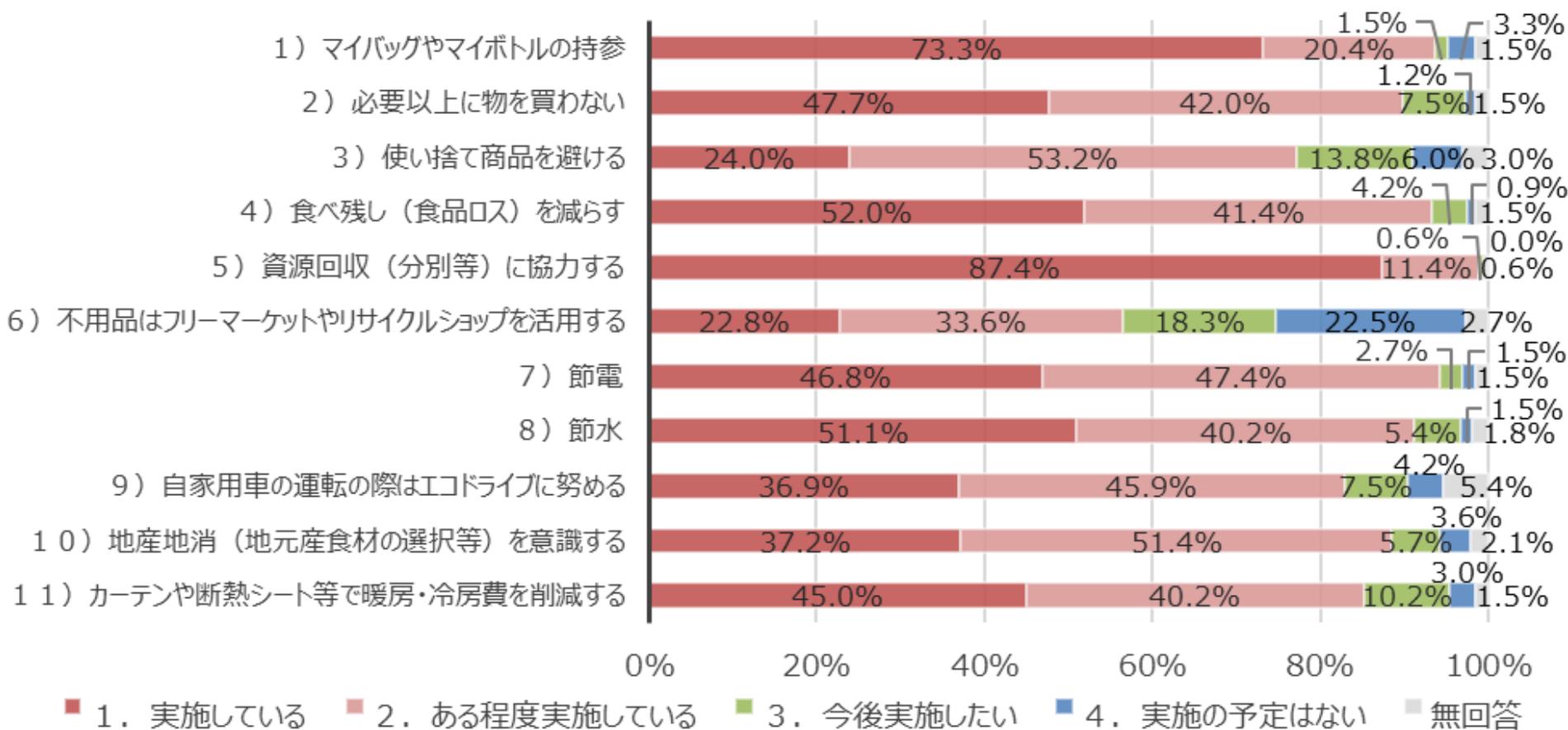
問21 環境に配慮したエネルギー設備を導入する上で重視すること



金銭面や効果・情報を重視している

町民アンケート調査結果：③環境配慮への取り組み（日常生活での取り組み）

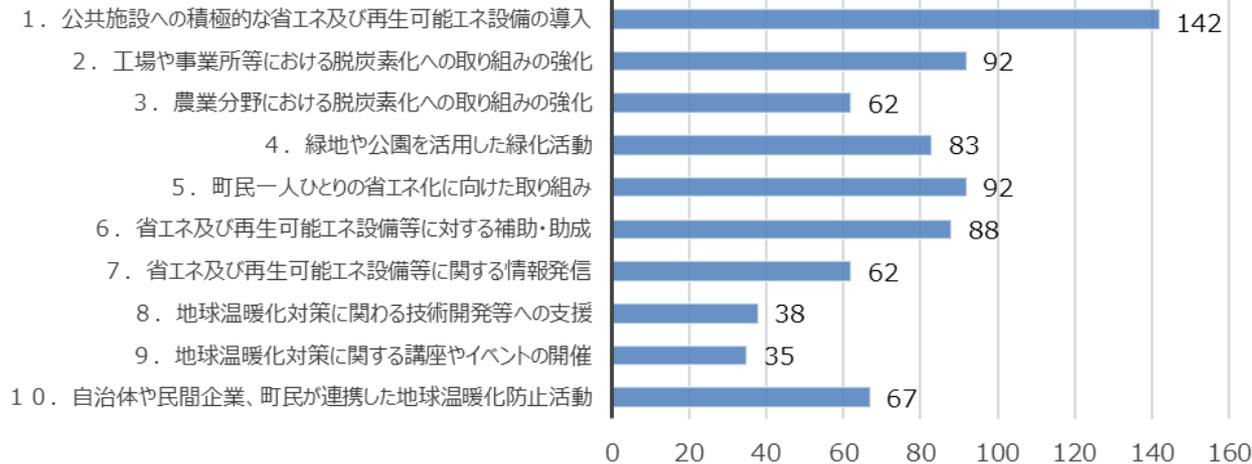
問22 日常での取り組み



日常での取り組みは、ほとんど実施している。

町民アンケート調査結果：④町の取り組み（推進すべきこと）

問23 脱炭素社会に向けて町が推進すべきこと



【職業別】

	第1位	第2位	第3位	第4位
農業及びその家族従事者	公共施設 18	農業分野 13	工場や事業所 13	町民 12 緑地 12 地域間連携 12
	農業以外の自営業及びその家族従事者	公共施設 7 町民 7		地域間連携 4 農業分野 3 工場や事業所 3 エネ補助 3 イベント 3
	会社員・団体職	公共施設 52	エネ補助 36	工場や事業所 33
公務員	公共施設 14	エネ補助 10	緑地 8	町民 6 農業分野 6 工場や事業所 6
	パートアルバイト	町民 21	緑地 20 公共施設 20	エネ補助 17
学生	公共施設 4	農業分野 3	2票で6項目	
家事専業	公共施設 15	工場や事業所 14	農業分野 10	エネ補助 9
無職	公共施設 50	町民 39	工場や事業所 34	エネ補助 31

【年代別】

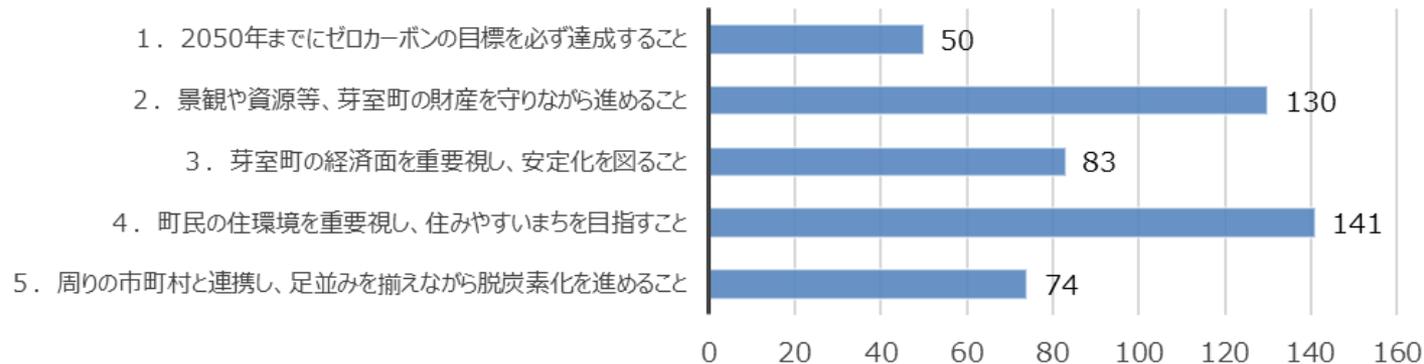
	第1位	第2位	第3位	第4位
10代	町民 3	公共施設 2 農業分野 2 地域間連携 2		
	20代	公共施設 9	エネ補助 8	緑地 6 農業分野 5
	30代	公共施設 14	エネ補助 12	緑地 9 地域間連携 8
40代	公共施設 21	町民 17	農業分野 13	工場や事業所 11
50代	公共施設 33	エネ補助 28	緑地 20	工場や事業所 18
60代	公共施設 44	工場や事業所 34	町民 30	エネ補助 28
70代	公共施設 44	町民 36	工場や事業所 31	地域間連携 29
80代	公共施設 19	緑地 16	町民 15	工場や事業所 14

年代問わず 「公共施設」
 20-60代： 「エネ補助」
 40-80代： 「町民取り組み」
 「工場や事業所」

職種問わず 「公共施設」
 農業： 「農業分野」
 自営業、パート、無職： 「町民取り組み」
 会社員、公務員： 「エネ補助」

町民アンケート調査結果：④町の取り組み(重視すること)

問24 脱炭素社会の実現に向けて、町が重要視すべきこと



【年代別】

	第1位		第2位		第3位	
10代	景観資源	4	経済	3		
20代	住環境	11	経済	9	景観資源	7
30代	住環境	17	景観資源	14		
40代	景観資源	21	住環境	16	経済	10
50代	住環境	31	経済	29	ゼロカーボン	10
60代	住環境	48	景観資源	40	経済	26
70代	住環境	46	景観資源	37	市町村連携	30
80代以上	景観資源	21	住環境	20	ゼロカーボン	14

【職業別】

	第1位		第2位		第3位	
農業及びその家族従事者	住環境	18	景観資源	17	経済	13
農業以外の自営業及びその家族従事者	景観資源	7	住環境	5	市町村連携	4
会社員・団体職員	景観資源	48	住環境	45	経済	38
公務員	住環境	10	景観資源	9	経済	6
パートアルバイト	住環境	29	景観資源	22	経済	18
学生	住環境	5	景観資源	4	経済	3
家事専業	住環境	15	経済	11		
	景観資源	15				
無職	住環境	60	景観資源	47	市町村連携	33

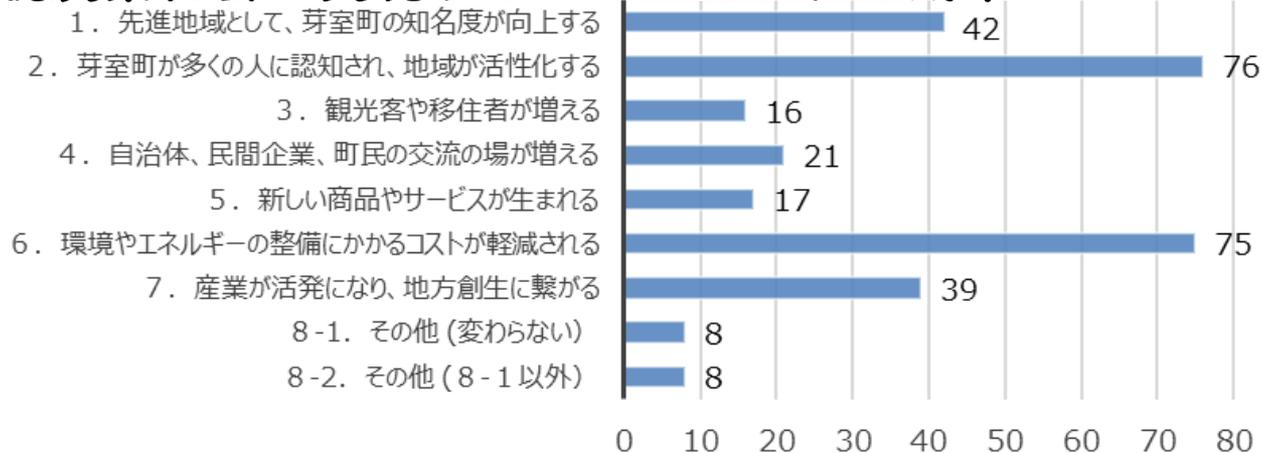
年代、職種問わず「住環境」と「景観資源」

10-60代：「経済」

→地域の景観や住環境を守りながら脱炭素を進めるべき

町民アンケート調査結果：④町の取り組み(脱炭素実現の効果)

問25 脱炭素社会が実現することで生まれる効果



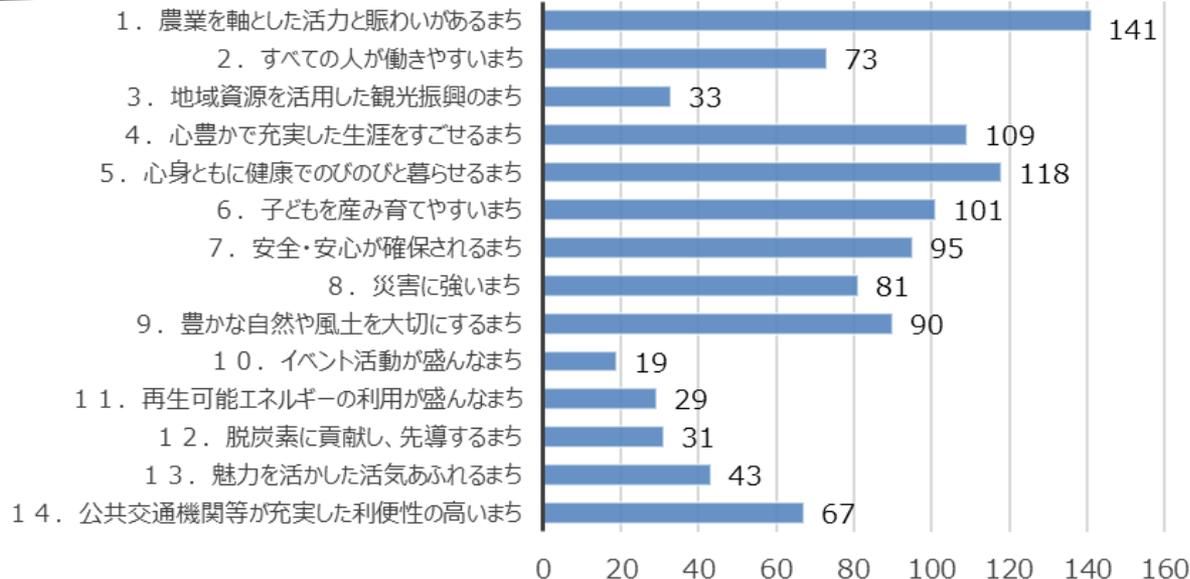
【年代別】

	第1位	第2位	第3位
10代	コスト軽減 3	知名度 2	
20代	知名度 6	コスト軽減 3	地域活性化 2
			観光客 2 産業 2
30代	コスト軽減 10	地域活性化 4	
		サービス 4	
40代	地域活性化 7	産業 6	
		その他 6	
50代	コスト軽減 18	地域活性化 13	産業 8
60代	地域活性化 15	コスト軽減 14	知名度 9
			産業 9
70代	地域活性化 22	コスト軽減 20	知名度 9
			産業 9
80代以上	地域活性化 13	知名度 5	コスト軽減 4
			交流人口 4

年代問わず、
 「地域活性化」、「コスト軽減」
 20-70代：「産業」
 10-20、60-80代：「知名度」

町民アンケート調査結果：④町の取り組み(将来イメージ)

問26 芽室町に望むイメージ



【年代別】

	第1位		第2位		第3位	
10代	農業	4	安全安心	3		
	健康	4				
20代	健康	9	災害	8		
			公共交通	8		
30代	子供	19	農業	15	健康	14
					安全安心	14
40代	子供	18	農業	17	健康	16
					心豊か	16
50代	農業	32	健康	27		
			自然風土	27		
60代	農業	44	心豊か	35	子供	32
70代	農業	43	健康	37	心豊か	36
80代以上	農業	28	健康	23	心豊か	15

年代問わず、「農業」・「健康」

高年代：「心豊かで充実」

中年代：「子供」

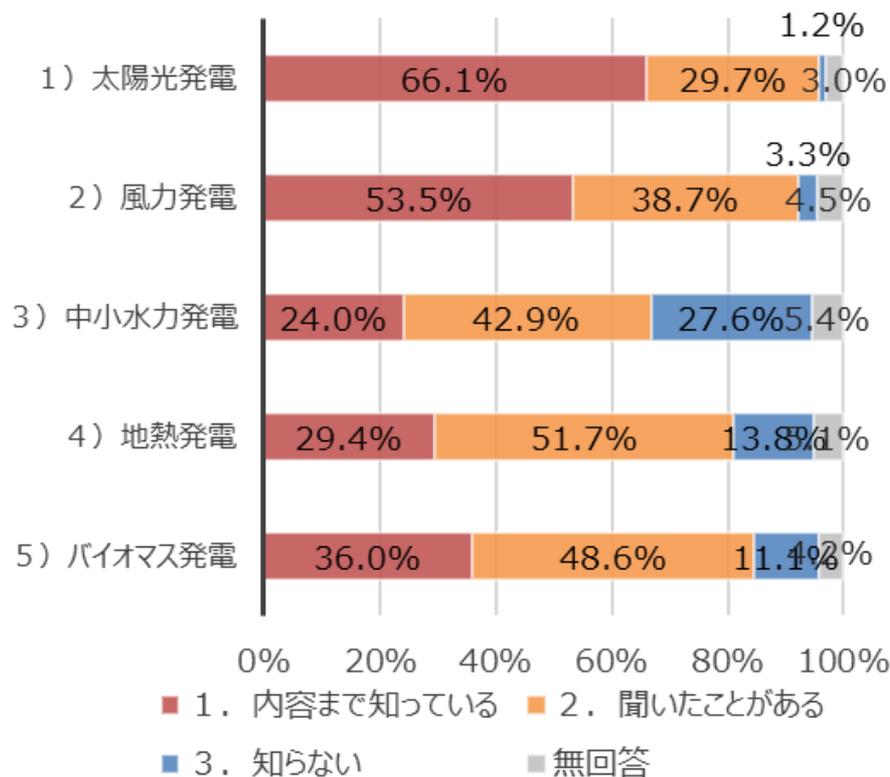
低年代：「安全・安心」

が多い

→農業と健康は全世代、さらに年代にあわせた将来像(イメージ)が重要

町民アンケート調査結果：④町の取り組み（再エネの知名度）

問27 エネルギー別再エネの知名度

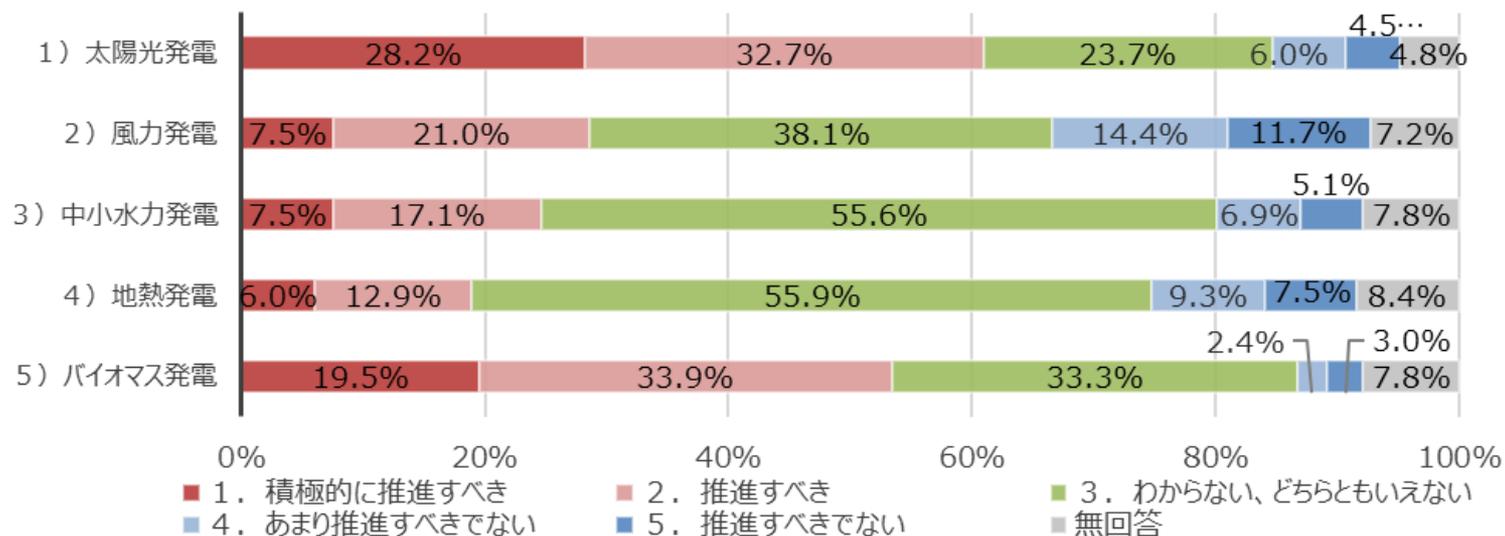


太陽光、風力： 「内容まで知っている」 > 「聞いたことがある」

中小水力、地熱、バイオマス： 「内容まで知っている」 < 「聞いたことがある」

町民アンケート調査結果：④町の取り組み（再エネの推進）

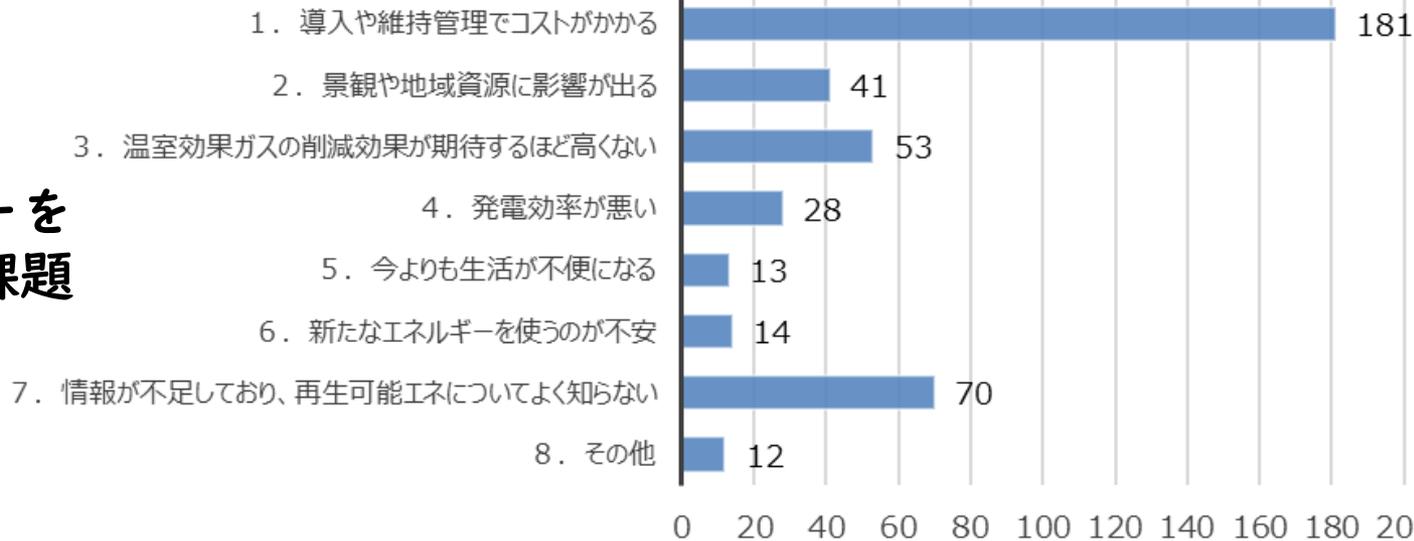
問28 再エネ発電の推進



風力、中小水力、地熱： やや否定的
太陽光、バイオマス： 肯定的

町民アンケート調査結果：④町の取り組み（導入の課題）

問29 再生可能エネルギーを 導入していく際の課題



	第1位		第2位		第3位	
10代	コスト	4	景観	3		
20代	コスト	13	効率	6	情報不足	4
30代	コスト	20	効率	8	景観	7
40代	コスト	28	効果	14	景観	7
50代	コスト	49	景観	13	効果	12
60代	コスト	57	効果	17	景観	15
70代	コスト	52	情報不足	26	景観	16
80代以上	コスト	25	情報不足	12	効果	8

問3-3	再生可能エネルギー	内容まで知っている	問29に回答した割合						
			1	2	3	4	5	6	7
		内容まで知っている	86%	22%	32%	25%	2%	3%	11%
		聞いたことがある	66%	18%	18%	9%	8%	8%	33%
		知らない	73%	18%	9%	0%	27%	18%	45%

**再エネを
知ってること
による課題**

**再エネを
知らないこと
からくる課題**

対策

**費用対効果まで
含んだ新サービ
ス等の情報提供**

情報発信

**世代に関係なく「コスト」
について「情報」**

町民アンケート調査結果：まとめ

○脱炭素について

- ・ 言葉：「内容まで知っている」「聞いたことある」8-9割。
「ゼロカーボン」は年代による差が無い。
「SDGs」「再エネ」は若い世代の方が知っている。
- ・ 地球温暖化問題に配慮した行動：「意識している」「少し意識している」8割以上。言葉の理解度が高い方が環境への意識は高い。

○環境配慮への取り組み

- ・ 再エネ、省エネ導入：導入済→「LED」「外断熱・二重窓」。
補助が無くても導入したい→「エコカー」「蓄電池」「省エネ機器」。
補助があれば導入したい→「太陽光発電」。重視するのは金銭面や効果。
- ・ 日常的な取り組み：ほとんどで高い実施率。

○脱炭素に向けた町の取り組み

- ・ 推進すべきこと：年代職種に関係なく「公共施設」
- ・ 重視すべきこと：世代に関係なく「地域の景観」や「住環境」
- ・ 将来像：「農業」と「健康」は全世代で共通。年代による違いもあり
- ・ 推進すべき再エネ：「太陽光」「バイオマス」
- ・ 再エネ導入の課題：「コスト」。情報発信は理解度に応じた対策

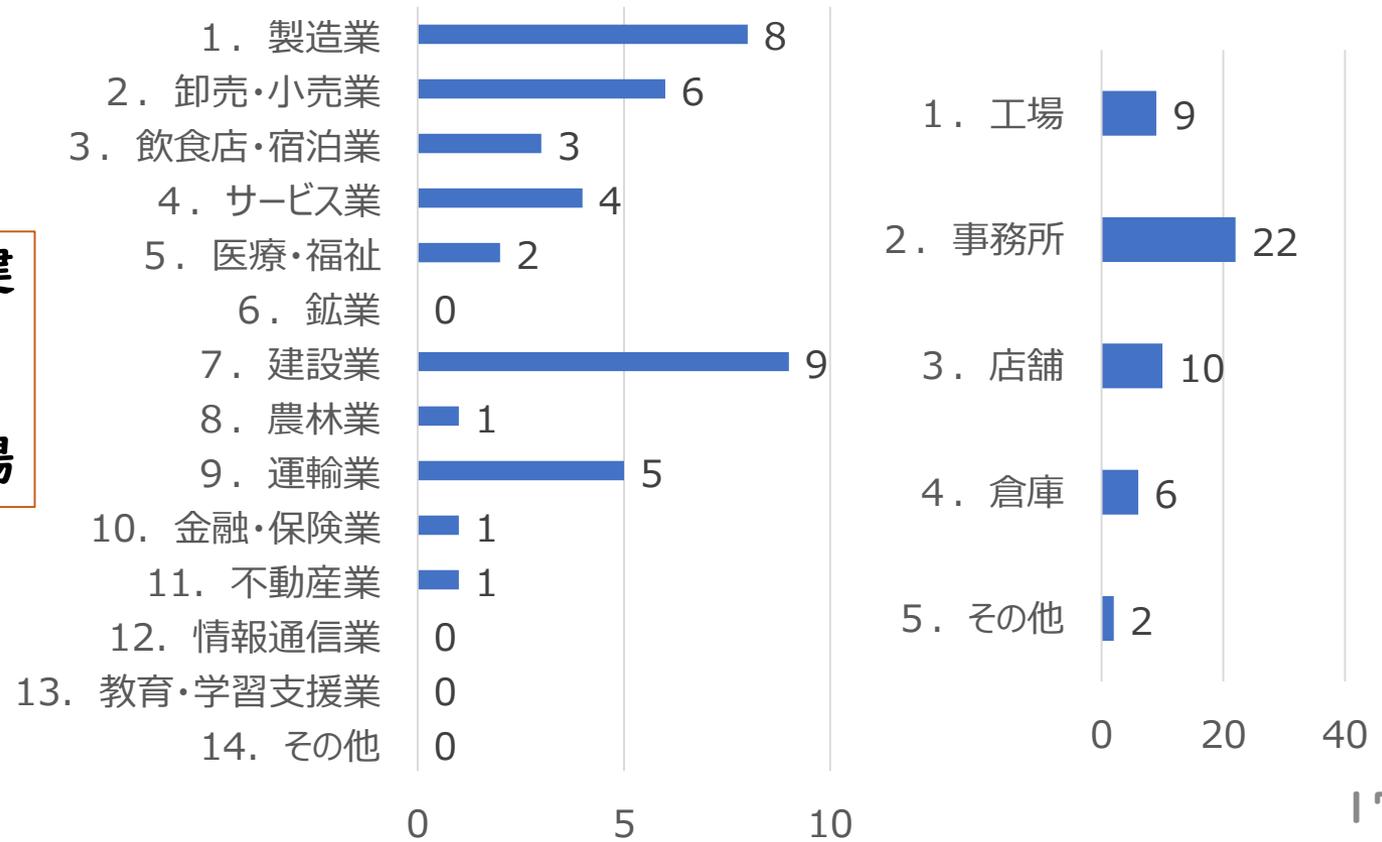
事業者アンケート結果： 事業所の業種、形態

アンケート調査の概要

- 【実施期間】 令和5年10月2日から10月20日
- 【アンケート調査配布数】 150通
- 【配布方法】 郵送
- 【回収数】 36通 (内WEB回答9)
- 【回収率】 24.0%

問2-業種、形態

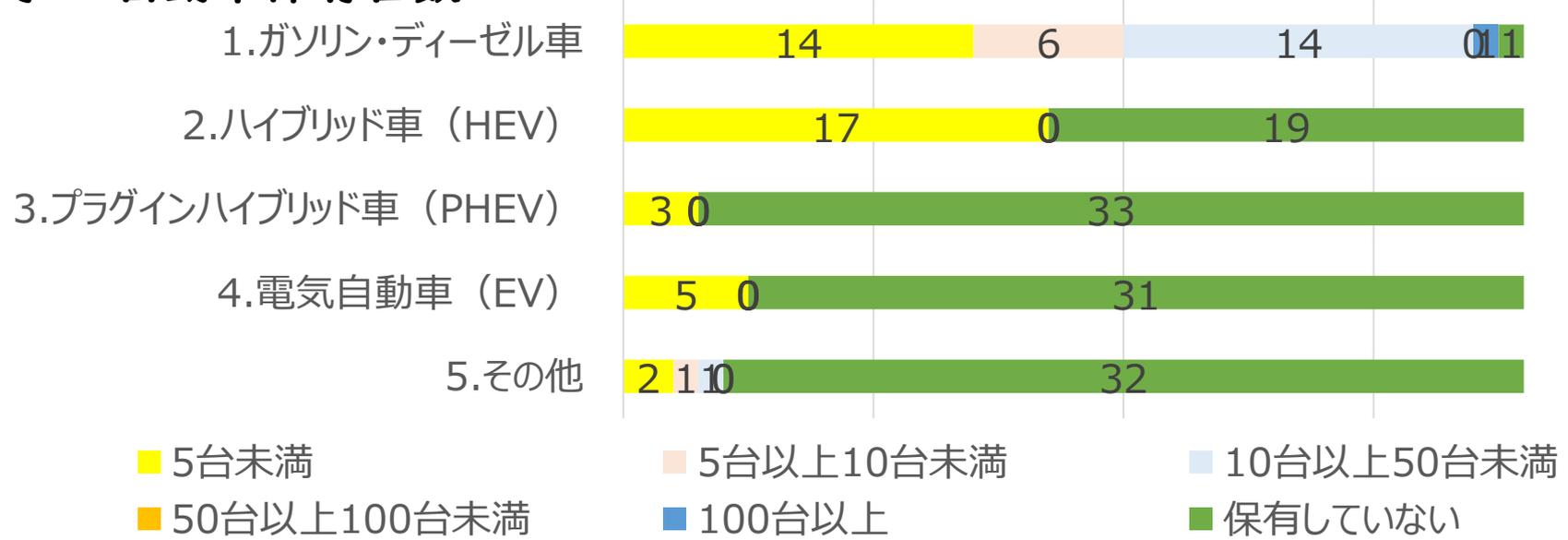
【業種】 製造業、建設業が多い
【形態】 事務所、店舗、工場



事業者アンケート結果：自動車保有

問5-自動車保有台数

回答事業者 36



ガソリン・ディーゼル車→依然多い

ハイブリッド車→約半数の事業者で導入

プラグインハイブリッド、電気自動車→1割程度

(低炭素型の自動車の導入は進んでいるが、導入台数は5台未満/企業)

事業者アンケート結果：再エネ・省エネ導入

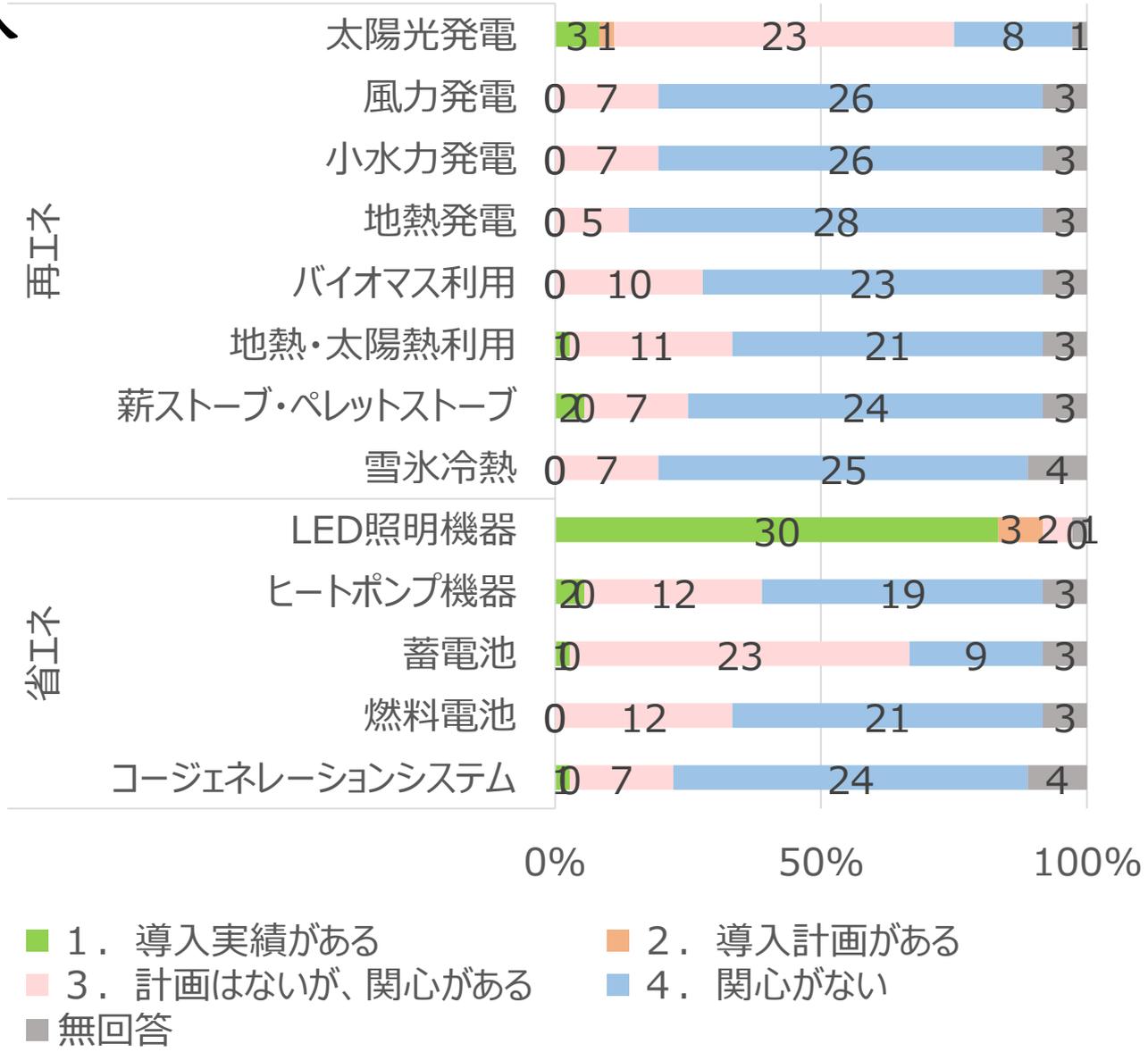
問7-再エネ・省エネ導入

回答事業者 36

【再エネ】
 導入実績は少ないが太陽光、太陽熱、薪・ペレットストーブが導入済み。太陽光の関心が高い

【省エネ】
 LED照明の導入実績が高い。蓄電池の関心が高い

太陽光を導入、蓄電池との併用利用に関心がある



事業者アンケート結果：緩和策について

問10-緩和策について

【導入実績がある】 25%~

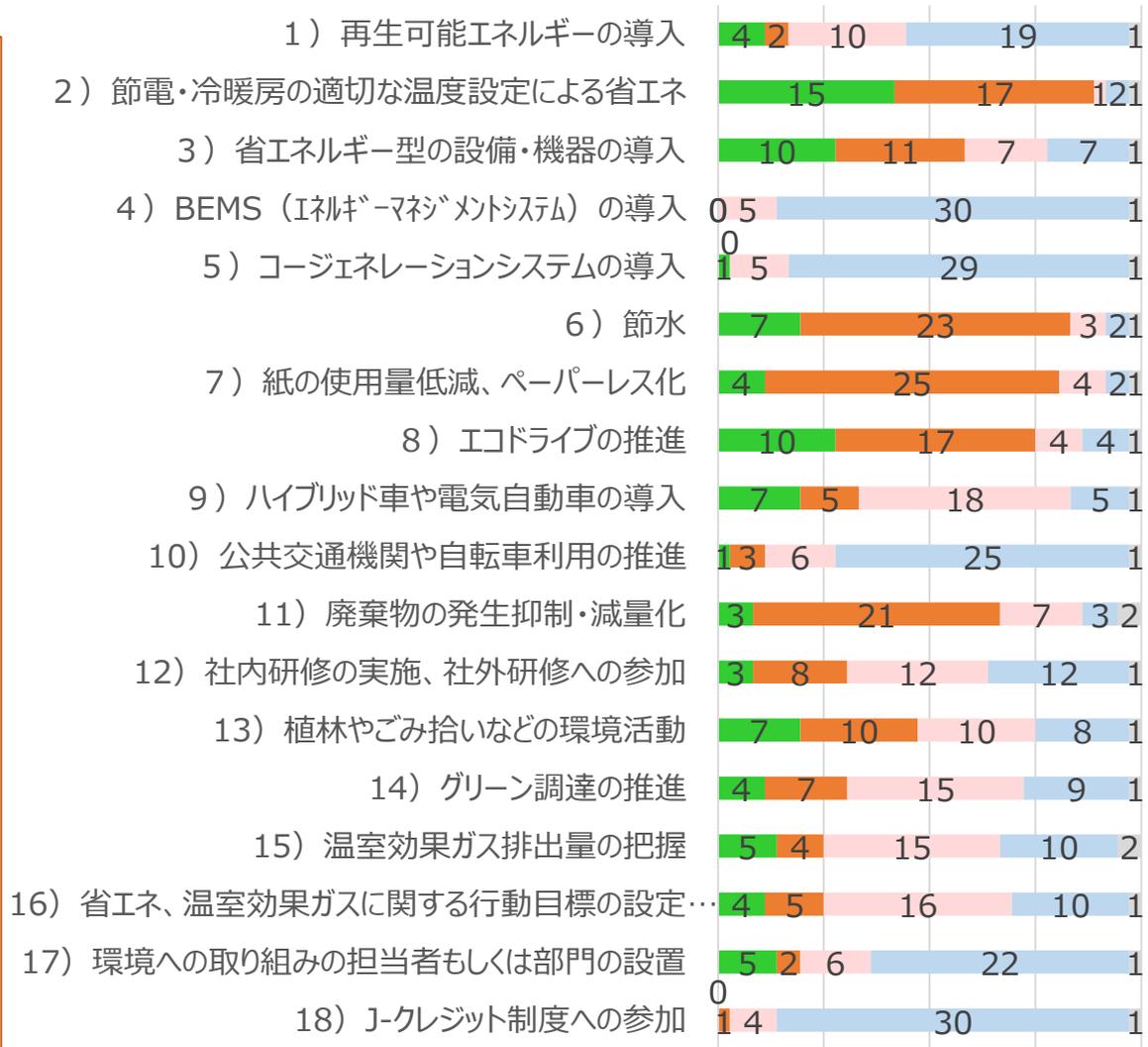
- 2) 適切な温度設定
- 3) 省エネ設備
- 8) エコドライブ

【導入実績+計画】 50%~

- 2) 適切な温度設定
- 6) 節水
- 7) ペーパーレス
- 8) エコドライブ
- 11) 廃棄物の抑制

【関心がない】 50%~

- 1) 再エネ導入
- 4) BEMS
- 5) コージェネレーションシステム
- 10) 公共交通、自転車利用
- 17) 環境部門の設置
- 18) J-クレジット



■ 1. 導入実績がある
■ 2. 導入計画がある
■ 3. 計画はないが、関心がある
■ 4. 関心がない
■ 無回答

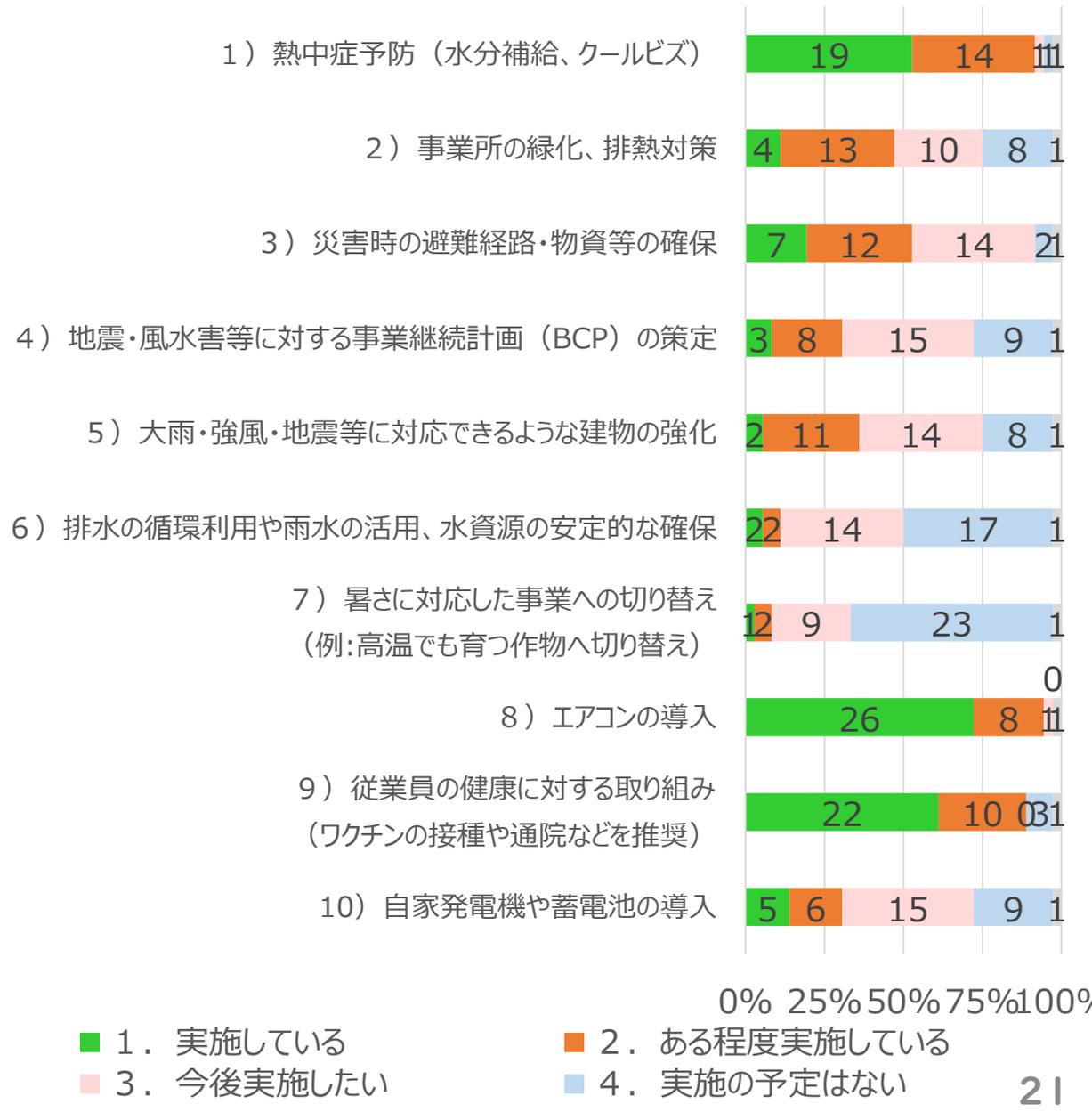
事業者アンケート結果：適応策について

問11-適応策について

【実施】
 25%~
 1) 熱中症予防
 8) エアコン
 9) 健康に対する取組

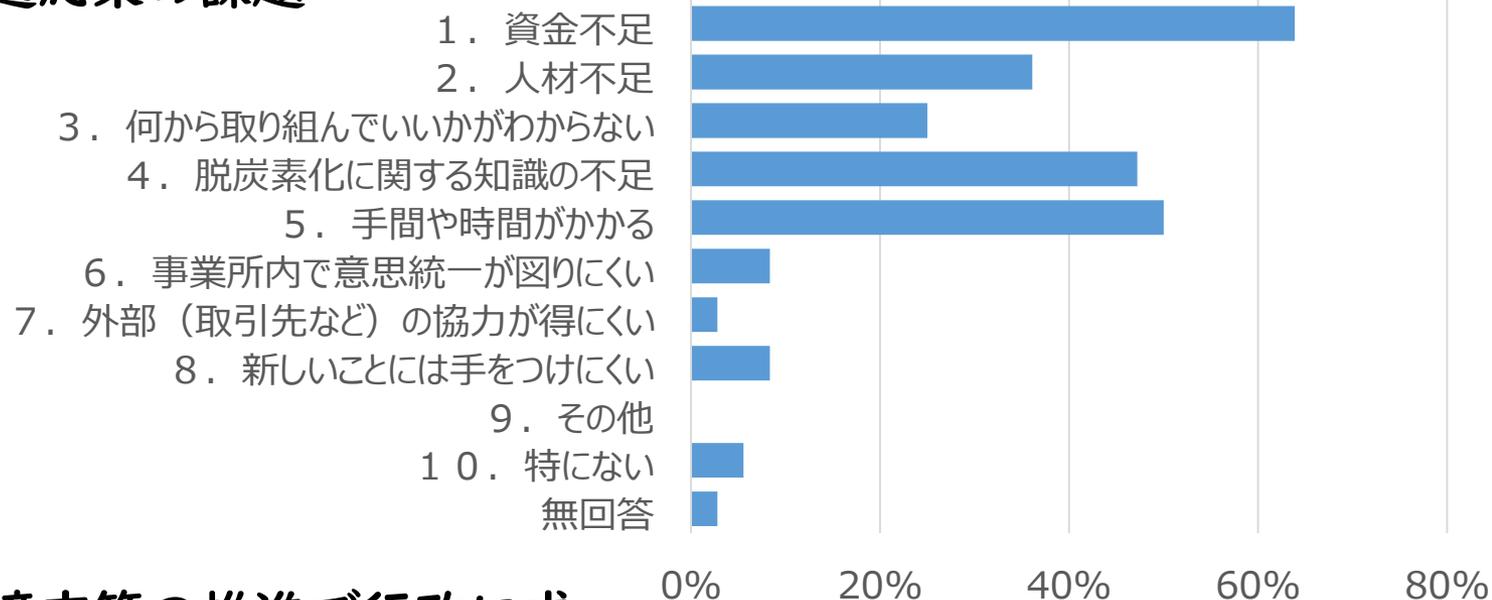
【実施+ある程度実施】
 50%~
 1) 熱中症予防
 3) 避難経路・物資確保
 8) エアコン
 9) 健康に対する取組

【予定なし】
 50%~
 7) 暑さに対応した事業

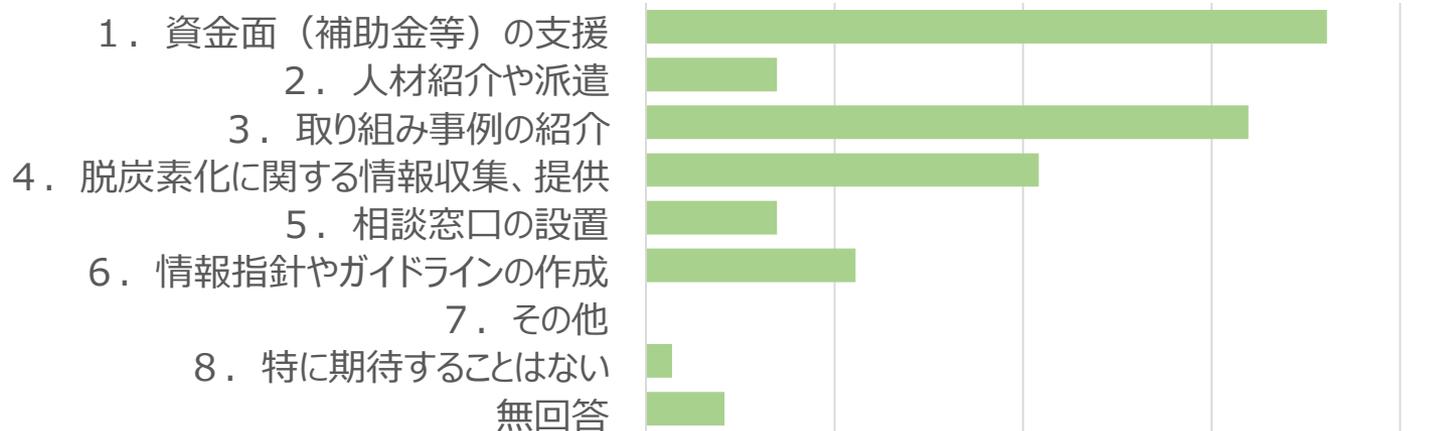


事業者アンケート結果：緩和策、適応策の課題と求めること

問12-緩和策・適応策の課題



問13-緩和策・適応策の推進で行政に求めること

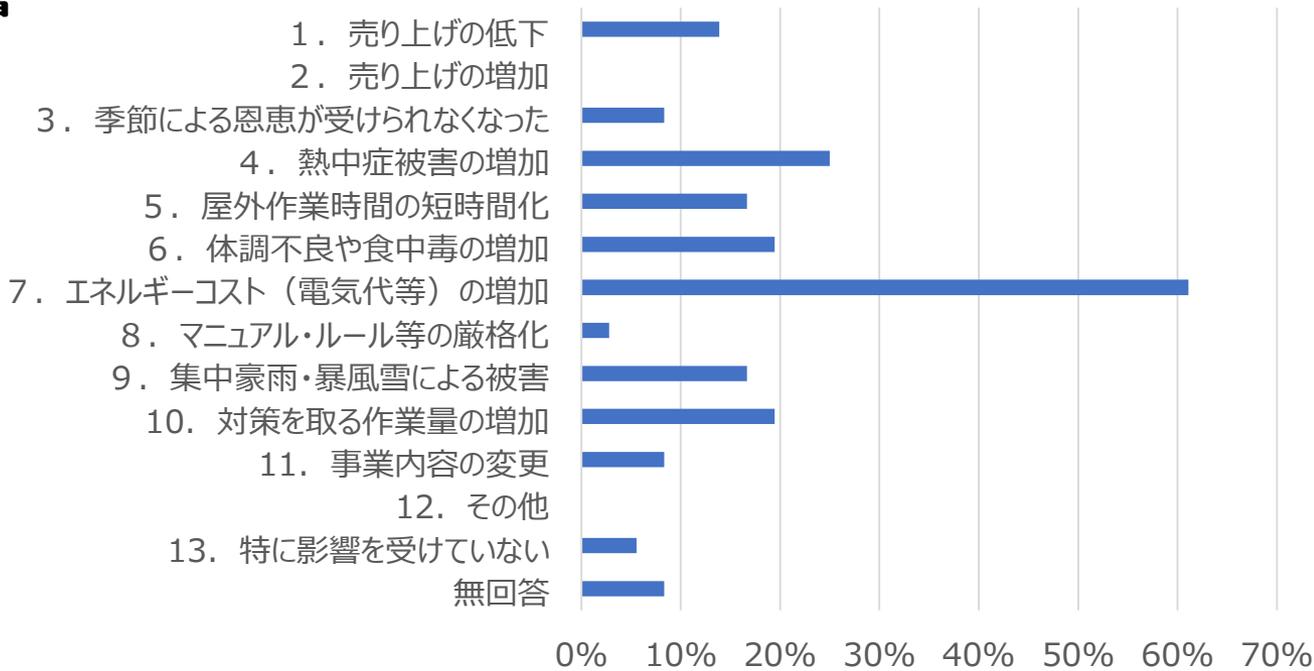


資金と情報提供

事業者アンケート結果：温暖化による影響と意識変化

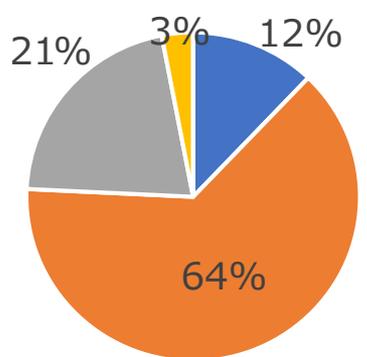
問14-温暖化による影響

**マイナスの影響
が大きい
(熱中症被害、
コストの増加)**



問15-地球温暖化や環境問題に対する意識の変化

10年前に比べ意識は変化してきている。



- 1. 大きく変わった
- 2. 少し変わった
- 3. あまり変わらない
- 4. 全く変わらない
- 5. 以前から意識は高いままで

参考：2010年調査

